

貯法：室温保存  
使用期限：容器・外箱に記載の使用期限内に使用してください。  
注意：取扱い上の注意の項参照

承認番号	(61AM)3832
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

商品番号 | N7

漢方製剤  
**コタロー**  
劇薬  
**八味丸料** エキス細粒  
はち み がん りょう

〔組成・性状〕

\*\* (1) 組成

本剤9.0g中  
日局 ジオウ……………5.0g 日局 ブクリョウ……………3.0g  
日局 サンシュユ……………3.0g 日局 ボタンピ……………3.0g  
日局 サンヤク……………3.0g 日局 ケイヒ……………1.0g  
日局 タクシャ……………3.0g 日局 ブシ末2(炮附子末)  
……………1.0g

上記の混合生薬より抽出した八味地黄丸料の水製乾燥エキス5.3gを含有する。

添加物としてステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖水和物、プルラン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウムを含有する。

(2) 製剤の性状

本剤は茶褐色～濃茶色の細粒で、特異なおいがあり、味はやや辛く甘い。

識別コード：N7

〔効能・効果〕

疲労倦怠感がいちじるしく、四肢は冷えやすいのかかわらず、時にはほてることもあり、腰痛があつて咽喉がかわき、排尿回数多く、尿量減少して残尿感がある場合と、逆に尿量が増大する場合があり、特に夜間多尿のもの。

血糖増加による口渴、糖尿病、動脈硬化、慢性腎炎、ネフローゼ、萎縮腎、膀胱カタル、浮腫、陰萎、坐骨神経痛、産後脚気、更年期障害、老人性の湿疹、低血圧。

〔用法・用量〕

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

(1) 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 体力の充実している患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
- 2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者〔心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。〕
- 3) 著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。〕
- 4) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕

(2) 重要な基本的注意

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

(3) 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 <sup>注1)</sup>	発疹、発赤、痒痒等
** 肝臓	肝機能異常 (AST (GOT)、ALT (GPT)、T-Bil等の上昇)
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等
その他	心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4) 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5) 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれるボタンピにより流産の危険性があり、また炮附子末の副作用があらわれやすくなる。〕

(6) 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。〔本剤には炮附子末が含まれている。〕

〔取扱い上の注意〕

(1) 漢方製剤は吸湿しやすいので、湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

特に、ポリ瓶の場合はキャップを強く締めて保管してください。

(2) 本剤は天然の生薬を原料としておりますので、ロットにより色調等に異同がありますが、効能その他に変わりはありません。

〔包装〕

コタロー八味丸料エキス細粒

ポリ瓶 500g  
分包 3.0g×168包(504g)  
3.0g×42包(126g)

〔資料請求先〕

小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部  
〒531-0071  
大阪市北区中津2丁目5番23号  
TEL 06-6371-9106 FAX 06-6377-4140  
(9:00～17:30/土、日、祝日、弊社休日を除く)

製造販売元



小太郎漢方製薬株式会社  
大阪市北区中津2丁目5番23号